



# IXIL ラフィス クローゼット両開き戸 ライン枠 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 本体の脱落の原因となりますので、下記事項をお守りください。
  - ・本体の吊込みは、必ず2人作業で行ってください。
  - ・本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。
  - ・丁番カップ・丁番座は指定の固定ねじで、ガタツキがないように固定してください。

## ■取付け上のおお願い

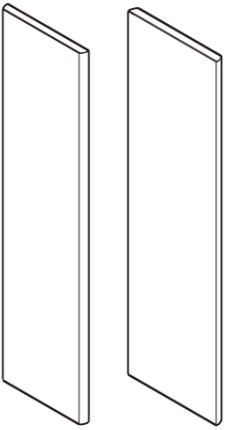
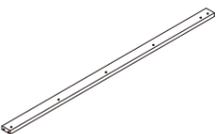
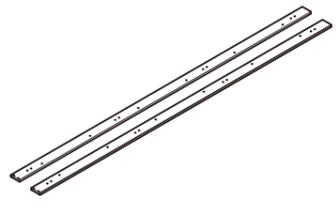
- 本製品は本体が天井高さで納まります。搬入や吊り込み時など天井面、壁面にキズを付けないよう注意してください。
- 本製品は床上納まりです。縦枠はカットしないでください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材を取付けるときは、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥剤(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 丁番が3個以上の本体は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。また、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- 運搬・加工の際は、傷つけないように取扱ってください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体の把手に重量物をぶらさげないでください。把手が壊れ落下するおそれがあります。
- 製品取付の際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直張りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。
- 鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

## ■保管上のおお願い

- 本製品はソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・昼夜などで温湿度差が激しい場所
  - ・湿気の多い場所
- 本製品を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因となります。

■部品・部材の明細

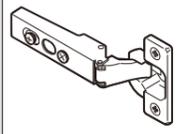
■部材明細

本体	3方枠
<p>●クローゼット本体</p> 	<p>●上枠</p>  <p>●縦枠(2本)</p>  <p>●位置出し定規(2本)</p> 

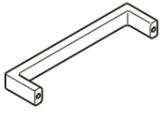
■枠部品セット

部品名称	丁番座	丁番座取付け用 皿タッピンねじ φ4×16	枠組立て用 皿小ねじ M4×50	プッシュボタン	上枠・縦枠取付け用 DNビス φ3.8×65
呼称					
H20, H24	8	16	4	16	16

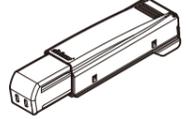
■本体部品セット

部品名称	丁番カップ	丁番カップ取付け用 皿タッピンねじ φ4×16	戸当り (クリアバンポン)
呼称			
H20, H24	8	16	2

■把手セット

部品名称	把手	把手取付け用 トラス小ねじ M4×35
呼称		
	1	2

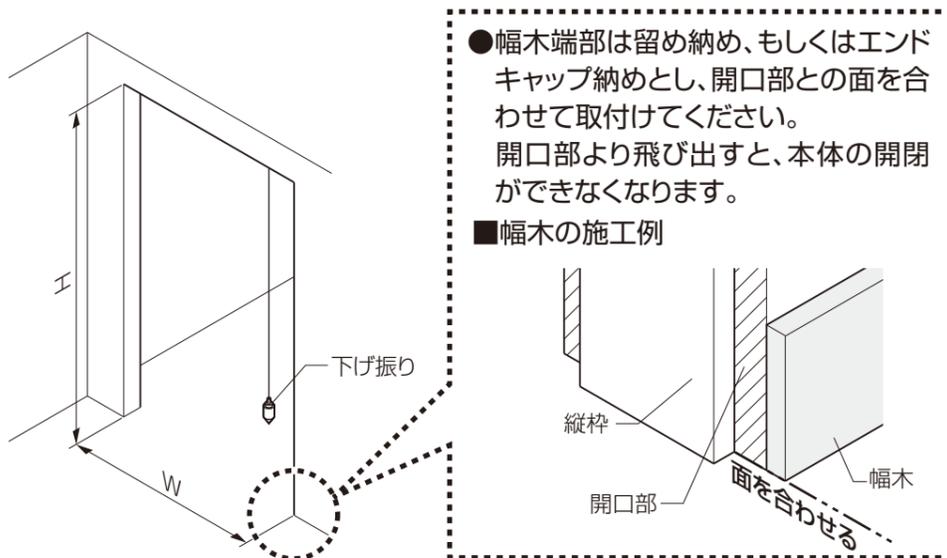
■ソフトモーション(別売り)

部品名称	ソフトモーション
呼称	
	2個入り

■開口部の準備

●開口部の水平・垂直を水準器・下げ振りなどで確認してください。

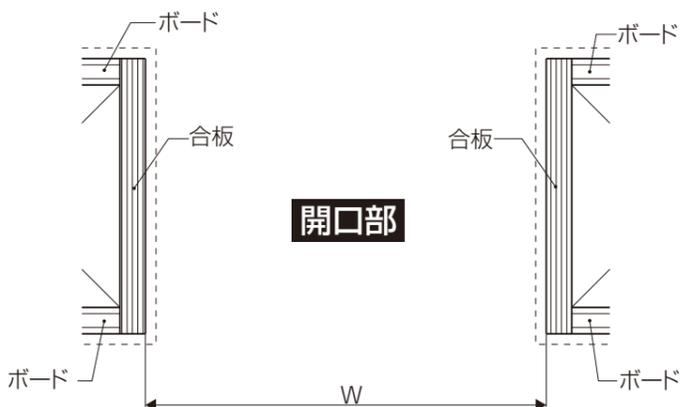
【室内設置の場合】



(単位:mm)

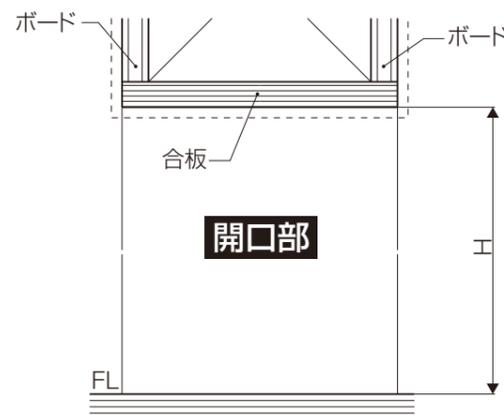
呼称	W	H
0720	734	2023
0724	734	2400

●横断面



●縦断面

【室内設置の場合】



●お願い

※枠が本体の内側にひかえる仕様のため、開口部の内法寸法の精度を十分に確保する必要があります。開口寸法精度が不十分なまま施工した場合は、すき間の不均一・本体の開閉ができなくなるおそれがあります。

※仕上り面(上図点線部)にクロス張りができるレベルの下地処理をする必要があります。枠と開口部壁面のすき間が不均一になるおそれがあります。

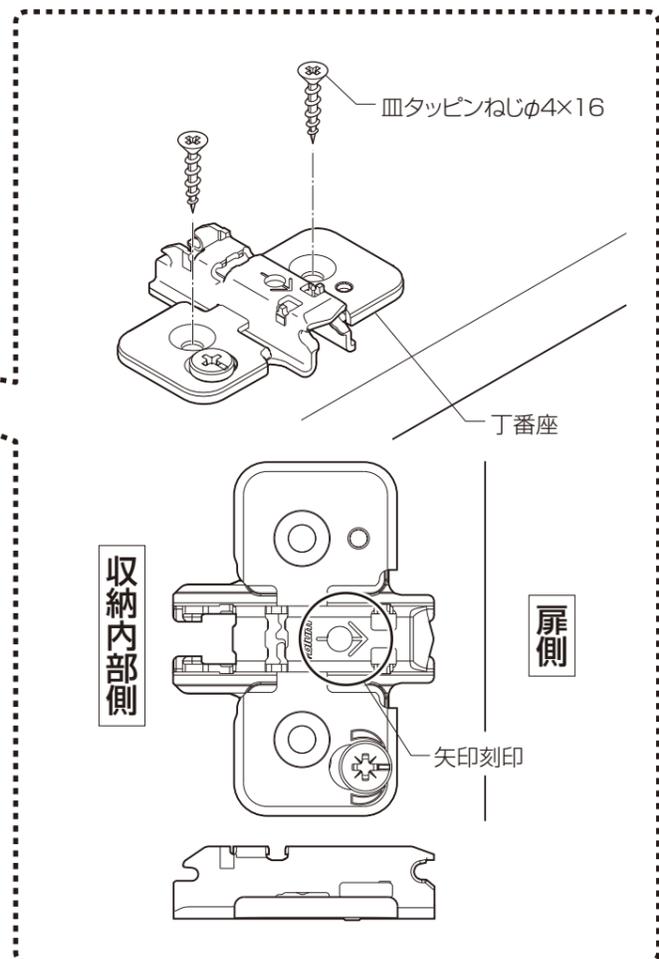
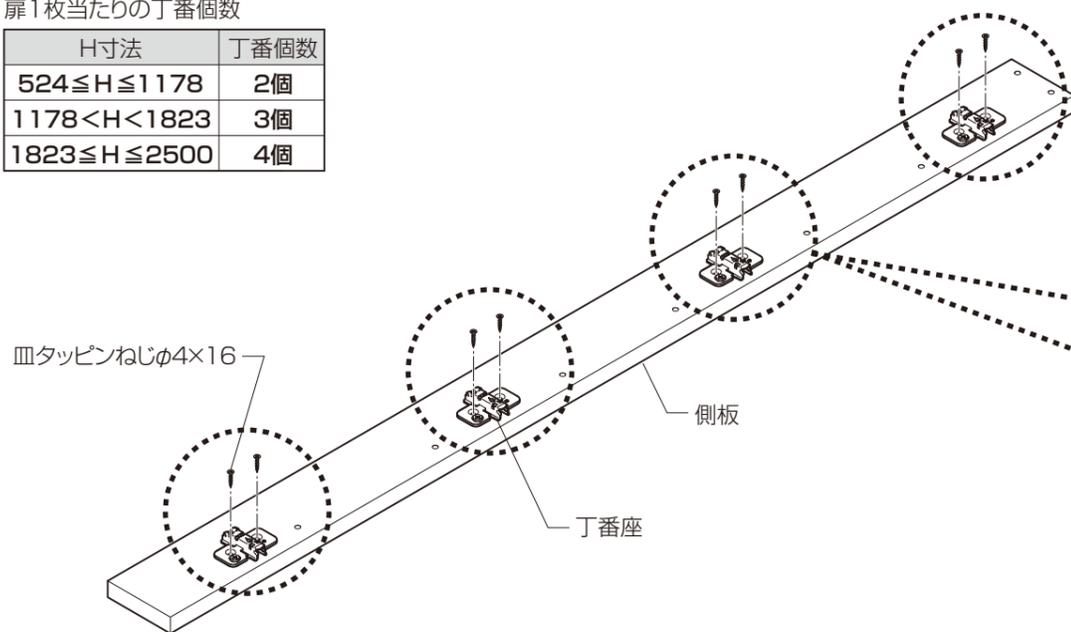
## ■組立て詳細

### 1 丁番座の取付け

- 縦枠に丁番座を丁番座取付け用皿タップピンねじφ4×16で固定します。  
取付けの際は丁番座の向きに注意してください。(下図参照)

扉1枚当たりの丁番個数

H寸法	丁番個数
524 ≤ H ≤ 1178	2個
1178 < H < 1823	3個
1823 ≤ H ≤ 2500	4個

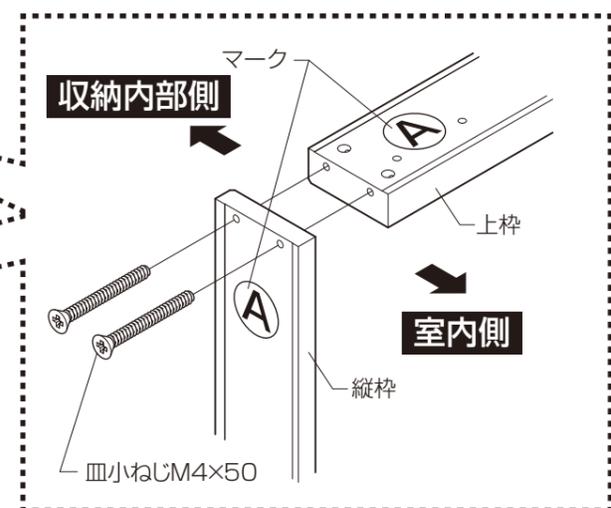
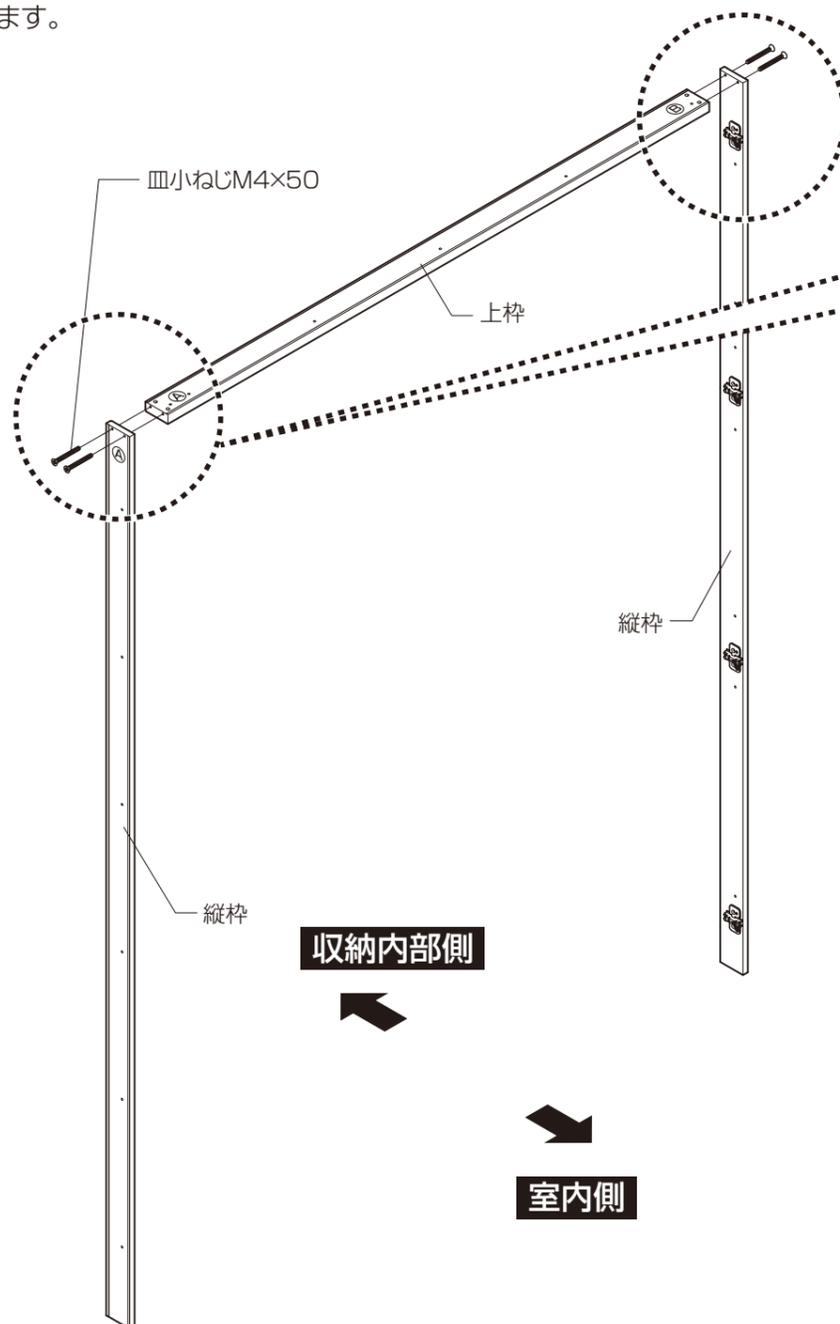


#### ▲注意

- 丁番座とキャビネットの間にすき間がないことを確認してください。すき間があると扉落下の原因となります。

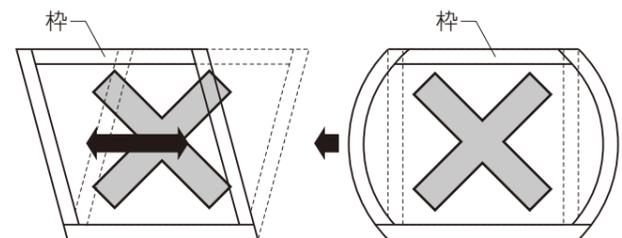
### 2 枠の組立て

- 下図のように各部材を組合せ、枠組立て用皿小ねじM4×50で固定します。



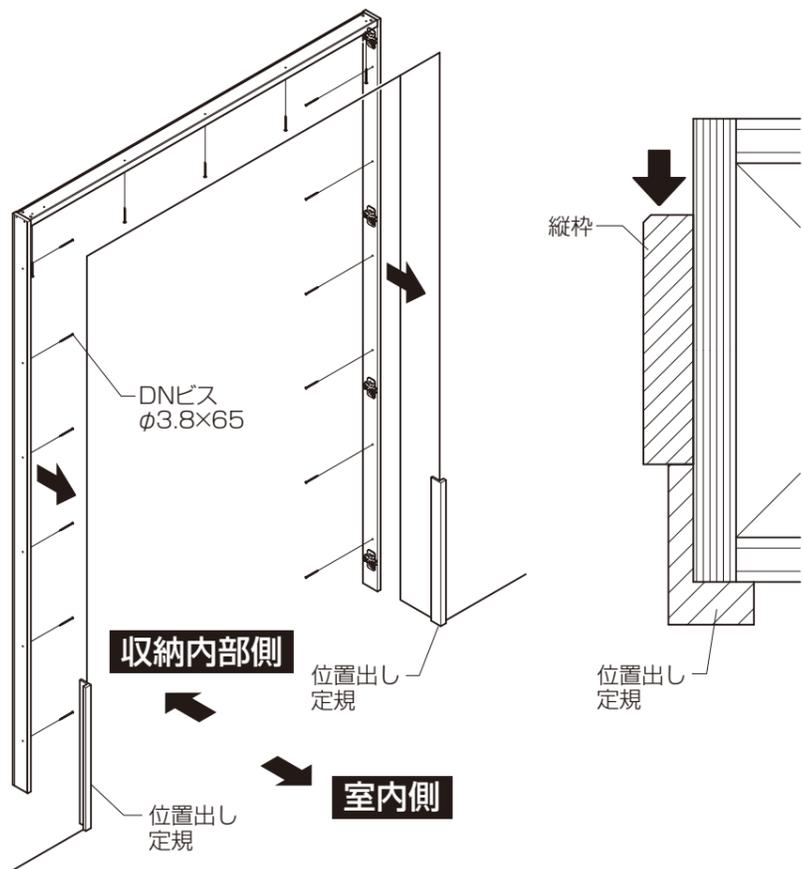
#### お願い

- ※上枠と縦枠のマーク(A、B)を合わせて組立ててください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



### 3 枠の取付け

- ①位置出し定規をかくし釘・ねじなど(現場手配)を使用して、開口部に仮止めします。  
※位置出し定規は、枠の取付け後に取外します。
- ②組立てた枠を開口部に入れて、位置出し定規に突き当てます。
- ③組立てた枠の位置を確認し、上枠・縦枠を開口部に固定します。(A図参照)
- ④枠を固定した後に位置出し定規を取外してください。

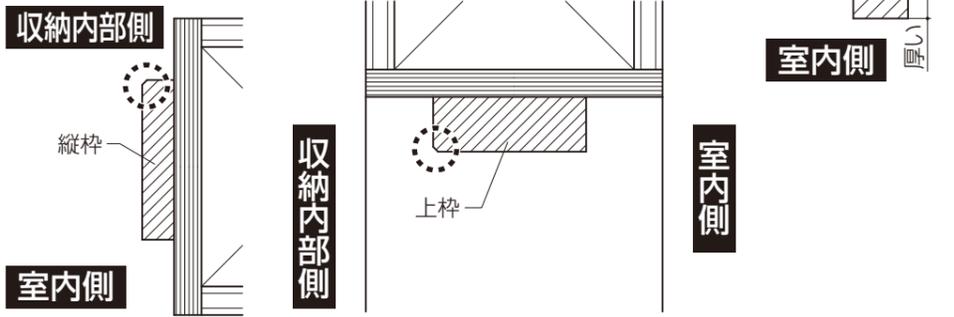


#### お願い

- ※位置出し定規は縦枠の位置出しに使用してください。上枠と縦枠は位置が異なります。
- ※位置出し定規は右図のように厚い方を室内側壁表面に当て、薄い方を開口部内側になるように使用してください。向きを間違えると本体が開口部よりはみ出して正しい納まりになりません。
- ※組立てた枠の向きは枠部材の面取り部(下図:○部)が収納側になるように開口部へ入れてください。本体の吊込みができなくなります。

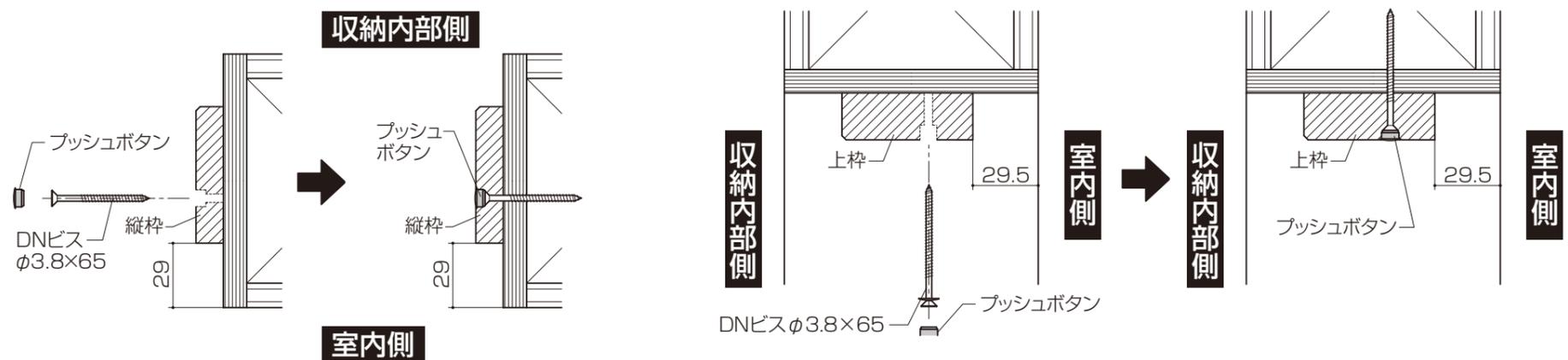
#### 収納内部側

#### 室内側



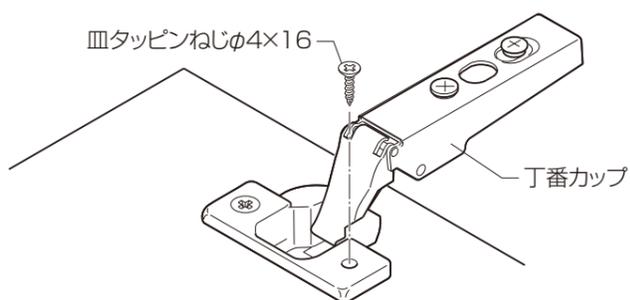
### A図

※上枠・縦枠取付け用DNビスφ3.8×65を面一に締め込み、プッシュボタンをはめ込んでください。



### 4 丁番カップの取付け

- 丁番カップを、丁番カップ取付け用皿タッピンねじφ4×16で本体に取付けてください。



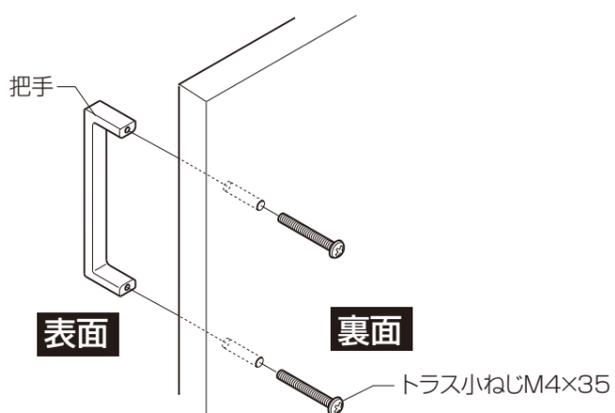
#### 注意

- 丁番カップは指定のねじでガタツキがないように固定してください。ねじの締め忘れ・ゆるみなどは本体の落下の原因となります。

#### お願い

- ※ねじが曲がらないように、必ず丁番カップ取付け用皿タッピンねじφ4×16で本体に取付けてください。ねじが曲がると本体を吊込みできなくなりますので、ご注意ください。

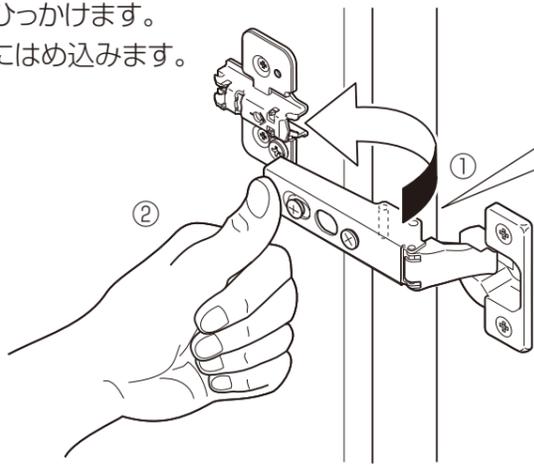
### 5 把手の取付け



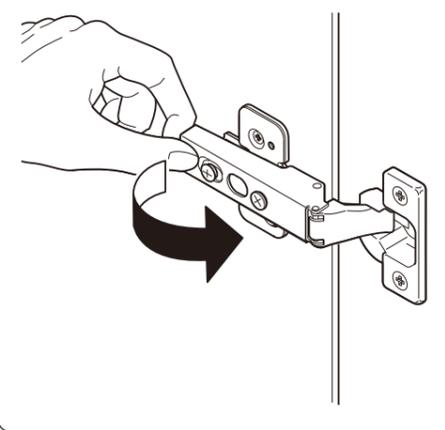
## 6 本体の吊込み

※本体の吊込み後、3回程度開閉を行い、丁番がゆるみ、ガタツキなく取付いていることを確認してください。

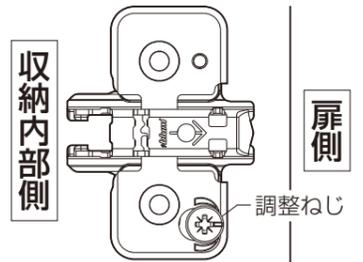
- ①座の全面に丁番カップをひっかけます。
- ②丁番カップの後ろ側を座にはめ込みます。



取外す時は丁番カップ後ろ側のレバーを持ち上げて外してください。



※位置ずれによりはめ込みにくい場合、丁番座の高さを調整し、はめ込んでください。  
丁番座の調整ねじを回します。



### お願い

- ※最初に中間の丁番を取付けてから、上下端部の丁番を取付けてください。
- ※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- ※鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

### ▲注意

- 本体の吊込みは、必ず2人作業で行ってください。本体の脱落の原因となります。
- 本体の吊込みを行う場合は、丁番カップが丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の脱落の原因となります。

## 7 建付け調整

### お願い

- ※隣合う扉の扉端部が干渉すると開閉に支障が生じますので左右調整を必ず行ってください。
- ※入隅に設置する場合は、壁と扉が干渉しないことを確認してください。干渉する場合は、左右調整を必ず行ってください。

ラシッサ クローゼット  
開き戸建付け  
調整方法動画



5351592330001

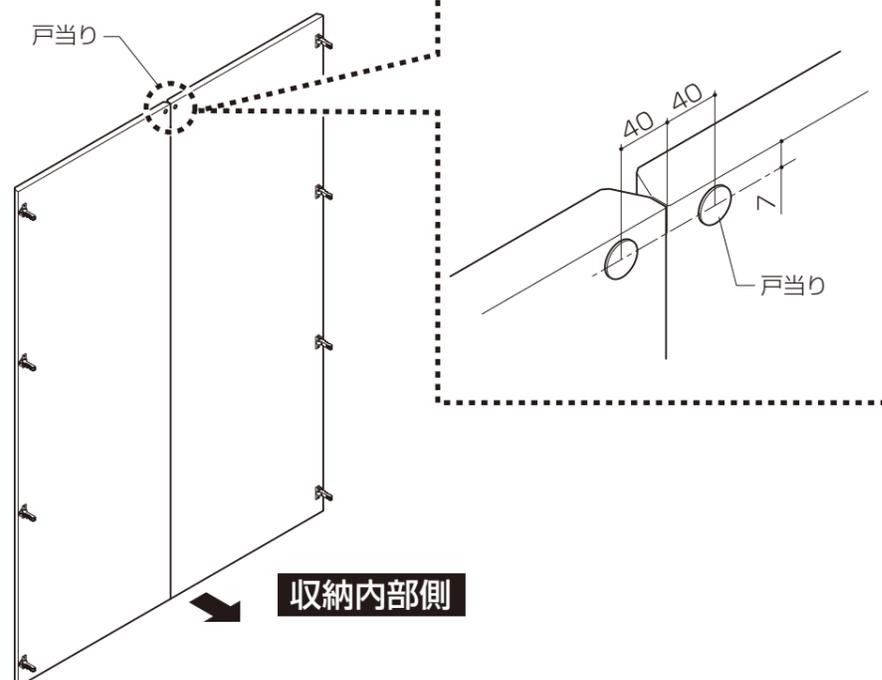
前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲／4mm(3mm/前方)(1mm/後方)	調整範囲／±2mm	調整範囲／±2mm
<p>※調整後、調整ねじを必ず締直してください。</p> <p>丁番カップの奥側ねじをゆるめて位置変更後締直します。</p>	<p>※調整範囲を超えてねじ込まないでください。</p> <p>丁番カップの手前側ねじを回すと連動して扉が動きます。ねじを締直す必要はありません。</p>	<p>※調整範囲を超えてねじ込まないでください。</p> <p>丁番座の調整ねじを回します。</p> <p>扉が重く、うまく回らない場合は扉を持ち上げるようにして調整してください。</p>

## 8 戸当りの取付け

- 右図を目安に戸当りを本体上部に張付けてください。

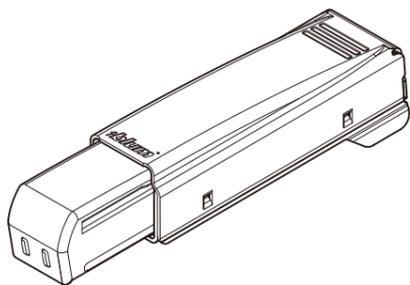
### お願い

- ※戸当りが上枠に当たるように張付けてください。開閉操作時に上枠に本体が直接当たり衝撃が緩和されず、キズがつきます。



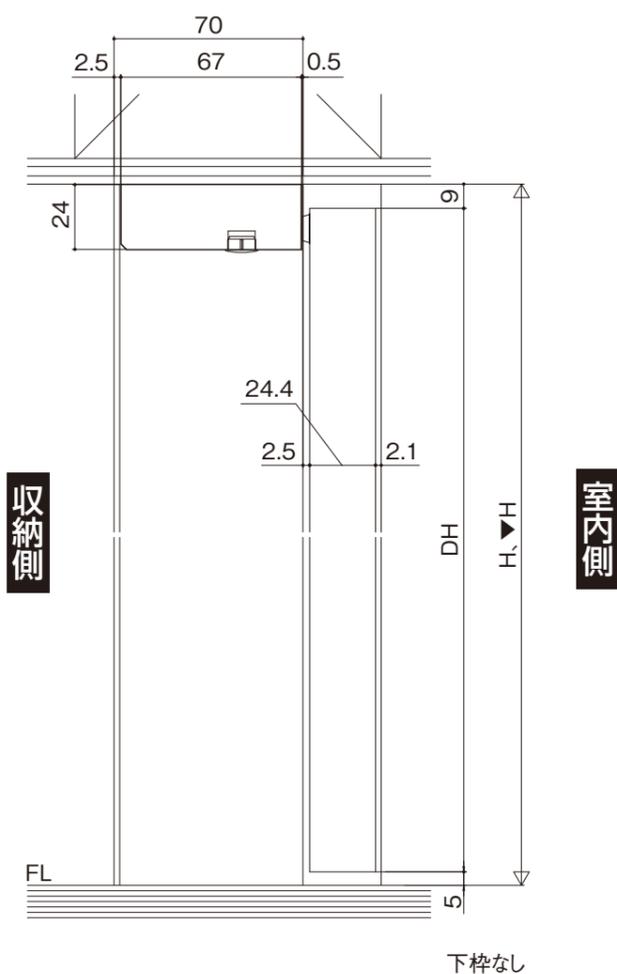
## 9 ソフトモーション(別売り)の取付け

※ソフトモーションの取付け手順についてはソフトモーション部品セット(別売り)の取付け説明書を確認してください。

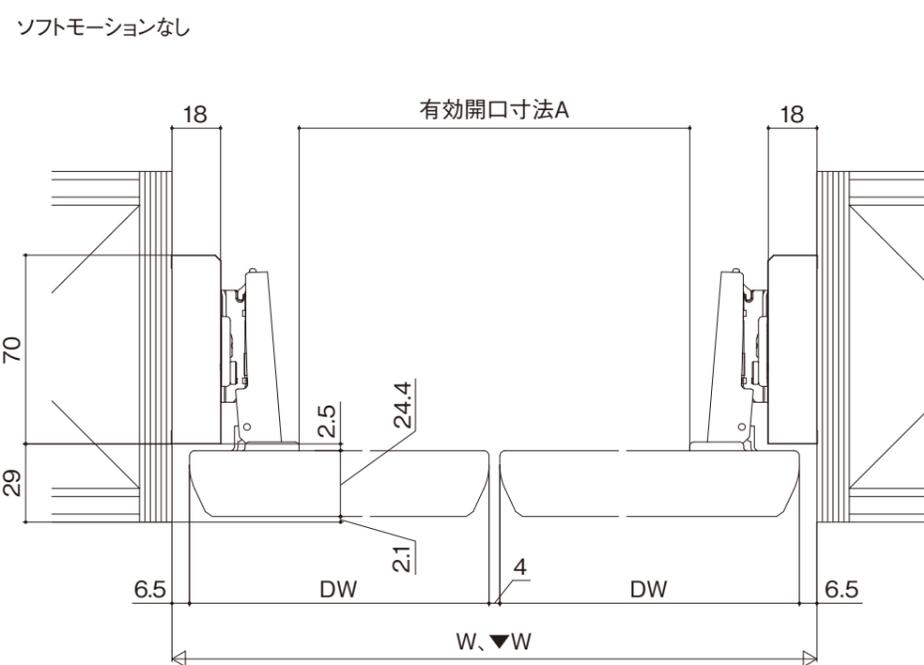
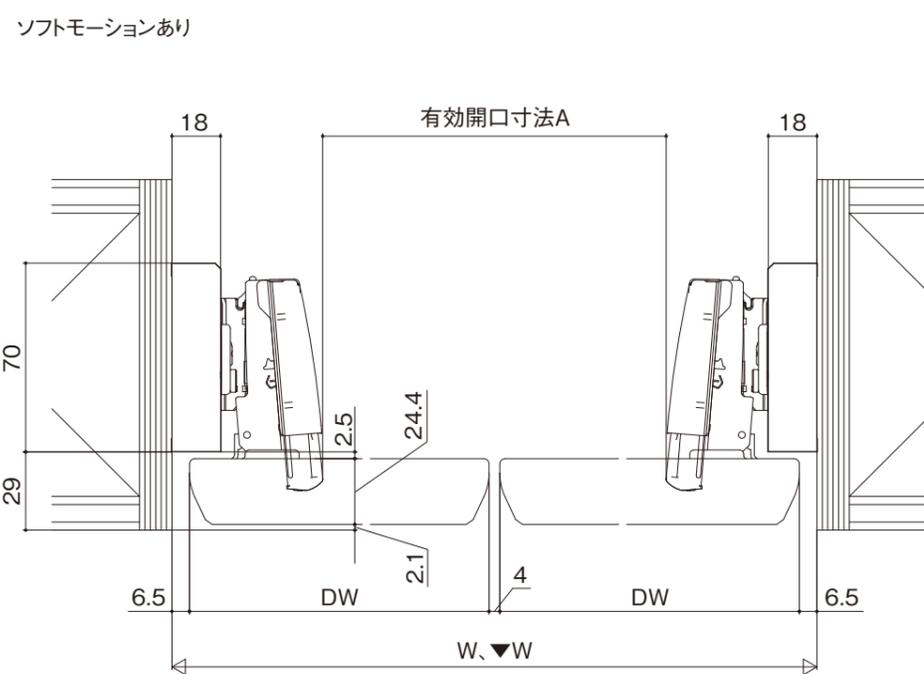


### ■納まり図

#### ●縦断面図



#### ●横断面図



有効開口寸法 (単位:mm)

W寸法(枠外寸法)	A寸法	
	ソフトモーションあり	ソフトモーションなし
W07(734)	622	640

ソフトモーションあり  
算出式:A寸法=W-112

ソフトモーションなし  
算出式:A寸法=W-94